

新規事業採択時評価結果(令和7年度新規事業化箇所)

担当課： 道路局 環境安全・防災課
担当課長名： 水野 宏治

事業の概要

スマートICアクセス		事業 区分	地方道	事業 主体	島根県安来市
事業名	市道今村4号線 (仮称)安来スマートICアクセス				
起終点	自：島根県安来市飯島町 至：島根県安来市切川町			延長	0.4km
事業概要		市道今村4号線は、R6.9.6に新規事業化された一般国道9号(安来道路)の安来スマートIC(仮称)にあわせて整備する延長約0.7kmのアクセス道路である。			
事業の目的、必要性		当該道路周辺は産業系・商業系用途として開発区域とする方針を定めており、アクセス道路と安来スマートIC(仮称)を同時に整備することで、安来市のまちづくりの推進に大きく寄与することや、移動時間の短縮に伴い安来市及び周辺地域の観光振興、輸送の効率化や企業誘致の促進などを目的とした事業である。			
全体事業費		約5.2億円		計画交通量	約1,900台／日
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見

沿線自治体の安来市から早期整備の要望を受けている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

安来市公共事業事前評価委員会(令和7年2月21日)において、新規事業化は妥当であると評価。

対応方針(採択理由)

費用便益比が3.6と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
また、安来スマート IC(仮称)と一体的な整備により、新たなまちづくりと連携し産業・商業の活性化、周辺観光地へのアクセス向上が図られ観光周遊の促進などが見込まれることから、当該事業の整備の必要性・効果は高いものと判断される。
以上により、本事業は令和7年度新規事業箇所として妥当である。

事業評価結果（総合評価）

事業採択の前提条件
☒ 便益が費用を上回っている
☒ 事業実施環境が整っている

費用 便 益 分	B/C		(参考)	EIRR	総費用	14億円	総便益	51億円	(参考) 時間信頼性向上便益：- 億円 CO2排出削減便益：- 億円	感度分析		基準年
		[4%]	3.6	-	〔 事 業 費：8.5億円 維持管理費：5.9億円 更 新 費：-億円 〕	〔 走行時間短縮便益：43 億円 走行経費減少便益：7.2 億円 交通事故減少便益：1.1 億円 〕	交通量変動			B/C＝3.5～3.6 (変動ケース:±10%)	令和6年	
	(参考)	[2%]	4.5	-			事業費変動			B/C＝3.4～3.8 (変動ケース:±10%)		
		[1%]	5.0	-			事業期間変動			B/C＝3.4～3.8 (変動ケース:±20%)		

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。〔 〕内は社会的割引率の値)

事業 の 影響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	・渋滞の緩和に期待。 ・一般国道9号(安来道路)に交通の転換が図られ、主要渋滞箇所である国道9号出雲郷東交差点、清水入口交差点の渋滞緩和に期待。
		事故対策	-	・注目すべき影響はない。
		歩行空間	-	注目すべき影響はない。
	社会全体への影響	住民生活	○	安来スマートIC(仮称)とあわせて整備することにより、安来道路のアクセス性が向上し、搬送時間が短縮されるとともに患者の安定搬送の確保が期待される。
		地域経済	◎	当該道路周辺地域は、商業施設用地や工業用地として開発する方針であり、既に大手民間企業の進出が見込まれており、安来スマートIC(仮称)とあわせて整備することにより今後、多くの開発需要を見込まれることが期待される。また、安来市の平野部には、たたら製鉄の歴史を引き継ぐ鉄鋼産業の集積地があり、スマートICによるこれらの集積地へのアクセス向上により、主要産業である鉄鋼業をはじめ、市内産業の取引拡大や新たな設備投資が期待される。 錦町交差点(鉄鋼産業集積地の代表交差点)～安来道路までの所要時間 【整備前】7分⇒【整備後】5分
		災害	○	安来スマート IC(仮称)とあわせて整備することにより、第一次緊急輸送道路に指定されている安来道路に連結され、災害発生時において円滑かつ確実な緊急輸送が期待できる。
		環境	-	注目すべき影響はない。
		地域社会	◎	安来スマートIC(仮称)とあわせて整備することにより、「足立美術館」をはじめ、日本五大山城である「月山富田城跡」、「鷲の湯温泉」など、多くの観光地へのアクセス向上は、複数の空港や港湾を有する中海・宍道湖・大山圏域内での移動時間の短縮につながり、インバウンドも含めたさらなる周遊を促し、一層の観光客の増加が期待される。 東出雲IC～足立美術館～安来ICの所要時間 【整備前】35分⇒【整備後】26分

事業実施環境
・令和6年9月6日 安来スマートIC(仮称)が新規事業箇所公表。
・沿線自治体の安来市から早期整備の要望を受けている。